

## 春3月❀ 修了おめでとう



**Rちゃん** じゆうなところ おともだちをおもうやさしいきもちの Rちゃんがだいすきです。

**Hくん** げんきで あかるくて わらいころげる かわいい Hくん。ようちえんでもおともだちといっぱいあそんでね げんきでね。

**Rくん** だいなみっくな ねんどあそび すてきなさくひんが いっぱい。じゆうなきもちで いっぱいの

びのび あそんでね。しがつから さくらぐみになるよ！

**Rくん** ころろにためた いろんなことを おはなししましたね。いよいよひまわりぐみです。みんなと いっぱいあそんで いっぱいおはなししてね。ひまわりさんを たのしんでね。

**S君** 学ぶ意欲は学校一です。独創的で素敵な作品をたくさん創りましたね。お笑いキャラでたくさん笑わせていただきました。笑 ありがとう。

**Kさん** 青豊祭の感想発表では、大事なことを学びましたね。心の成長を感じました。6年生になって、どんな自分を目指して頑張るのかな？楽しみです。

**Rさん** ぐんぐん背がのびて もうぬかれそうです 笑。心も体も大きく成長した1年でしたね。Kさんと同様、6年生になって、どんな自分を目指して頑張るのかな？楽しみです。



**Mさん Mさん**

中学部生活はいかがでしたか。小学部とは違って苦しい時もあったでしょう。勉強に部活動に頑張る姿が心に残っています。そして、この写真が一番好きです。

2人の悔しさや優しさがそのまま伝わってくるからです。この気持ちは、自分の成長につなげていくべき大事な気持ちです。切磋琢磨して喜びに変えてくださいね。

**男組 S君 M君 T君**

「全身全霊」いかがでしたか？高等部に新しい風を吹かせてくれたように思います。澤頭先生が毎週欠かさず発行してくれた「チームワーク」を読んで、学んだことはたくさんあったことでしょう。そのままの自分を安心して出せるクラスで、充実した2年生を過ごし、学校を変えてください。期待大！！





### S 君

飛躍の年でした。一体何枚賞状をもらいましたか。高く目標を掲げ、宣言した（砲丸二連覇 やり投げ優勝）勇気に脱帽です。生徒会長、全国陸上と、人知れず静かにプレッシャーはやってくると思います。支えになるのは「努力」です。木村コーチは、S君の礼儀正しさと飲み込みの早さをいつも褒めていました。青豊で誰も成し遂げていないところへ向かって挑む高3にしてください。学校を頼むよ。期待しています。

### 保護者の皆様へ。

今年度一年間の御支援御協力に感謝申し上げます。このような形での修了となってしまうことは、残念ですが、修了を迎えた13名の子どもたちは、この一年精神的に確実に大きく成長しました。修了おめでとうございます。

巣立つときの姿を職員と共有して、子どもたちに委ねること、譲らず実行しやり遂げさせるべきこと、自らを振り返ってもらうこと、乗り越えるべきことを、子どもたちの力を信じながら、大人も模索した1年でした。ただ、皆様の心の中には、表現せずに飲み込んだままにした、不満や怒りがたくさんおありのことと思います。プロである教師集団の私たちの力不足を、今年度もお詫び申し上げる次第です。

「茶の間の孤独」という言葉があります。お茶の間で家族が談話して、またはテレビを見て、わっと笑うとき、聴覚に障害のある子どもだけが分からない。その孤独感を表現する言葉です。人工内耳のお子さんが増え、聴覚を使ってやり取りができるようになりました。喜ばしいことです。ただ、最近「豊学校の孤独」という言葉が心の中を去来しています。授業や日常生活の様子を見て、「ああ、あの子には伝わっていないな。」という場面を多く目にするようになったからです。個に合わせた指導と言われて長い年月がたちましたが、この子は聴覚を使えるから手話はいらなかったら、豊学校にいても子ども同士伝わり合えない。友達と時間を忘れてするおしゃべり、理解しあった喜びを学校生活で体験することが、人としての成長には欠かせないことは周知の通りです。

ここは豊学校です。子ども同士が分かり合うこと、友達に分かるように伝えること、分かりたいと求めること。大人と子どもがきちんと伝わり合うこと。学校は大人も子どももつながり合う場所でなければなりません。職員の手話力も、口頭で伝わるからか十分ではありません。研鑽を積んでほしいと思います。

人間にとって「孤独」は辛いことです。人は結局1人なんだといういわゆる誰にでもある「孤独」とは種類が違うものです。私を含め、健聴者の鈍感さに、人間の鈍感さに頭を垂れるものです。

青森県でも、手話言語条例が制定される運びとなり嬉しい限りです。手話ができる人が一人でも増えてくれることを期待しています。

教職をこの3月で去ることとなりました。引退するスポーツ選手は悔いはないとカッコ良く去りますが、私は後悔ばかりです。力不足を本当に申し訳なく思っています。次年度から高等部の自転車通学も始まります。事故のないように願うばかりです。御理解のある保護者の皆様と一生懸命な職員とともに、最後を愛する青森豊学校で過ごせた幸せに感謝して「Love青豊」を閉じます。お世話になりました。ありがとうございました。お元気で。

